

第2次船橋市文化振興基本方針に係る対象事業の進捗管理表

2次方針期間開始

基本目標	施策	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R3事業実績	R3協議会から特記事項	R4事業実績
I 気づき始める	① 文化・芸術に関する情報を市民に効果的に届ける仕組みの構築	文化イベント情報紙「BUNBUN Funabashi」	文化課及び各文化施設	文化振興基本方針で掲げている重点プロジェクトの一環として、市内の文化施設がそれぞれ発信していた情報をまとめ、よりわかりやすい情報紙を作成する。	市内の各文化施設が発信していた情報をひとつにまとめたWeb版フリーペーパー「BUNBUN Funabashi」を年6回発行する。	ホームページ閲覧件数【月500件】	【決算額 0円】 【指標値実績 12,885件】 2カ月に1度のペースで発行。市内文化施設に若干紙媒体で配布した。令和2年度に引き続き、イベントカレンダー形式ではなく、各施設ごとのイベント案内とした。		【決算額 0円】 【指標値実績 17,332件】 2カ月に1度のペースで発行。市内文化施設に若干紙媒体で配布した。令和3年度に引き続き、イベントカレンダー形式ではなく、各施設ごとのイベント案内とした。
I 気づき始める	① 文化・芸術に関する情報を市民に効果的に届ける仕組みの構築	地域の生涯学習情報の収集と発信	社会教育課	船橋市等が行っている、市民を対象とした生涯学習機会の情報を知る手だてがなかった為、平成11年度以来、社会教育課でとりまとめ1冊の冊子にまとめている。	行政が実施する生涯学習事業に加え、地域の大学や企業が実施する事業の情報を積極的に収集し、発信していきます。また、市民の更なる生涯学習事業の利用・参加を促進するため、情報を発信でき、かつ、市民が手軽に生涯学習情報を検索できるアプリケーション等の構築について検討していきます。	事業掲載数【2,350事業】	【決算額 0円】 【指標値実績 1,191事業】 第64号(令和3年4月～7月) 352事業掲載 第65号(令和3年8月～11月) 421事業掲載 第66号(令和3年12月～3月) 418事業掲載		【決算額 0円】 【指標値実績 1,269事業】 第67号(令和4年4月～7月) 406事業掲載 第68号(令和4年8月～11月) 445事業掲載 第69号(令和4年12月～3月) 418事業掲載
I 気づき始める	① 文化・芸術に関する情報を市民に効果的に届ける仕組みの構築	船橋市役所 特案係	商工振興課	平成26年度より、観光客誘致のため、YouTubeでドラマ仕立ての動画を制作し、公開している。動画で扱う観光資源は多様で、史跡、伝統芸能、鉄道網の充実などの他、市民の音楽活動が盛んであるという船橋の文化的特徴も紹介していくことになった。	市の観光PRドラマとして、船橋が誇るモノ・コトを紹介していく事業であり、住んでいると気づかない地元の良さや観光資源の掘り起しを行っているものである。	動画再生回数			【決算額 0円】 【指標値実績 5,751回】 船橋市観光PRドラマ「特案係」の1～12話(番外編含む)が合計5,751回再生された。
I 気づき始める	① 文化・芸術に関する情報を市民に効果的に届ける仕組みの構築	ふなばしロケーションズ「ふなロケ」	商工振興課	これまで各施設が行ってきた撮影対応を広報課に一元化して平成27年5月に事業開始し、同時にWEBサイトを設置した。令和3年度から、「ロケーションガイド ふなばし撮おりゃんせ」から、ふなばしロケーションズ「ふなロケ」に事業名を変更した。	船橋市内にある様々な魅力的なロケーションを活用し、テレビドラマや映画等の撮影に提供することで、シビックプライドを醸成するとともに、施設を有効活用し、当該施設に関わる市職員や市民のモチベーションを高めることを目的とする。	利用件数【26件】	【決算額 0円】 【指標値実績 32件】 日本テレビ「THE突破ファイル」、BS-TBS「氷室想介の事件簿」などの撮影支援を行った。		【決算額 0円】 【指標値実績 51件】 TBS「100万回言えばよかった」、TBS「オールドルーキー」などの撮影支援を行った。ほかにも、市内の人気ロケ地や映画「20歳のソウル」のロケ地を巡るコースなどを掲載した「ふなロケマップ」の発行や、撮影支援した作品のロケ風景や出演者のサイン色紙を展示する企画展を市内11か所で開催した。また、ホームページにおいて、撮影に協力いただけの民間施設(事業者)を募集するページを新たに公開し、ロケ地の開拓を進めた。
I 気づき始める	① 文化・芸術に関する情報を市民に効果的に届ける仕組みの構築	魅力発信サイト FUNABASHI Style	広報課	平成28年3月のホームページ再構築に伴い、既存の市ホームページに混在していた、船橋の魅力を市内外に発信するコンテンツのみを独立させ、新ホームページを設置した。	「食べる」「見る」「遊ぶ」等の船橋の魅力を市内外に発信する。	市の情報をホームページで入手している人の割合(市民意識調査)【18%】	【決算額 0円】 【指標値実績 27.0%】 「取掛西貝塚 国史跡指定」や「船橋のキウイ」など船橋の魅力を32記事作成し、公開した。		【決算額 0円】 【指標値実績 25.2%】 「取掛西貝塚の巡回展」や「20歳のソウル」などの記事を公開した。
I 気づき始める	② 気軽に多様な文化に触れる機会の提供	ロビーコンサート	文化課	平成5年3月、船橋吹奏楽団の木管五重奏が全日本アンサンブルコンテスト(社団法人全日本吹奏楽連盟主催)で金賞を受賞し、市役所ロビー(現在の美術コーナー)で記念コンサートを開催したことがきっかけとなり、同年7月から始まった。100回記念となった平成14年12月には、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のコンサートマスター本庄篤子さんを迎え、ピアノ三重奏曲を演奏していただいた。平成19年6月には150回を迎え、平成24年1月には第200回、平成26年7月には第250回を迎えた。	屋の憩いのひととときに、市民及び市職員にさわやかな音楽と安らぎを提供するとともに、音楽の生演奏に触れることによって音楽文化に関心を持ってもらう機会とするため、月に1回(8月を除く)、市役所1階ロビーで質の高い音楽の演奏会を実施します。	アンケートの満足度【90%以上】	【決算額 340,737円】 【指標値実績 97.5%】 開催日：毎月第3水曜日(8月を除く) 開催回数：10回 出演者数：10組 16人 観覧者数：493人 特記事項：9月のロビーコンサートが新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となったことにより、出演者謝礼や調律代が減額となった。		【決算額 378,205円】 【指標値実績 96.6%】 開催日：毎月第3水曜日(8月を除く) 開催回数：11回 出演者数：11組 21人 観覧者数：733人 特記事項：
I 気づき始める	② 気軽に多様な文化に触れる機会の提供	市民ギャラリー・茶華道センター主催事業	文化課 【指定管理者：(公財)船橋市文化・スポーツ公社】	市民の文化芸術に対する理解を深め、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことを目的として開催する。また、普段茶華道センターに来る機会のない人にも、茶華道センターに立ち寄ってほしいと企画した。	各種教室事業の実施 (華道の世界・茶道の世界・子供茶道教室・囲碁入門子供教室・日本舞踊子供教室・外国人対象日本伝統文化体験教室・カジュアル茶道・書道教室) ①華道の世界は、初心者から経験者までを対象として、四季折々の花材を使いながら華道の基礎から応用までの技術の習得を目指す。 ②茶道の世界は各流派の立ち居振る舞いや茶の点て方など実践的な作法の習得を目指す。 ③囲碁入門教室は、囲碁未経験者を対象に、囲碁の楽しさを教える。 ④日本舞踊子供教室は、小中学生を対象に礼儀作法から始まり古典音楽に合わせて手足の動作などを実践的な技術の習得を目指す。 ⑤子供茶道教室(ハッピーサタデー事業)は、小中学生を対象に、楽しいお稽古から日本文化の素晴らしさ・大切さを学び、また礼儀作法についても習得させることを目的とする。 ⑥日本伝統文化体験教室は、外国人を対象に、日本の伝統文化である茶道や華道に親しむと共に、茶道・華道の基本的な知識を学び、初歩的な所作や技能を身につける。 ⑦茶室開放日は、茶室を無料開放し、茶室見学、茶会体験を行った。 ⑧カジュアル茶道は、より身近に茶道の所作に親しみ、本格的な茶道への入門となることを目指す。 ⑨書道教室は、小学生対象に書道の伝統と技術を学ぶことを目指す。 ⑩スクエア寄席は日本伝統芸能である寄席を楽しむ。	①～⑦ 教室参加者延べ人数【3,000人】 ⑧ 観客数【1開催100人】	①～⑦ 【決算額 4,056,950円】 【指標値実績 1,897人】 ①令和3年4月から令和3年9月まで、令和3年10月から令和4年2月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数606名 ②令和3年4月から令和3年9月まで、令和3年10月から令和4年3月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数889名 ③令和3年8月3回開催。参加者数9名 ④令和3年6月～12月までの土曜日 全10回。参加者数72名 ⑤令和3年6月～令和4年3月までの第3土曜日 全10回。参加者数142名 ⑥令和3年度は新型コロナウイルス対策のため中止 ⑦令和3年4月～令和4年2月の1月を除く毎月第2金曜日 全11回の計画で、4回実施。参加者数179名		①～⑩ 【決算額 5,029,990円】 【指標値実績 3,580人】 ①令和4年4月から令和4年9月まで、令和4年10月から令和5年2月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数793名 ②令和4年4月から令和4年9月まで、令和4年10月から令和5年3月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数1,540名 ③令和4年8月3回開催。参加者数45名 ④令和4年6月～12月までの土曜日 全10回。参加者数137名 ⑤令和4年6月～令和5年3月までの第3土曜日 全10回。参加者数385名 ⑥令和4年度は新型コロナウイルス対策のため中止 ⑦令和4年4月～令和5年2月の1月を除く毎月第2金曜日 全11回実施。参加者数491名 ⑧令和4年6月から令和4年10月まで、1期当たり9回開催。参加者数76名 ⑨令和4年4月から令和5年3月までの年2期開催。1期当たり12回開催。参加者数183名 ⑩ 第1回令和4年8月20日(土)参加者数41名 出演者 真打 入船亭 扇蔵 第2回令和5年3月2日(木)参加者数67名 出演者 真打 古今亭 菊志ん